

最上小国川清流未来ニュース

令和2年10月30日 発行
最上小国川清流未来振興機構

第20号

最上小国川清流未来振興機構は、「最上小国川清流未来振興計画」に基づいて様々な取り組みを行っています。今回の最上小国川清流未来ニュースでは、こうした取り組みの動きについてご紹介します。

最上小国川流水型ダム完成！

8月3日、最上小国川流水型ダム竣工式が最上町大字富澤地内のダム敷地内にて行われ、国土交通省和田大臣政務官、東北地方整備局長、県選出国會議員、県議會議員、最上町や舟形町の関係者など多くの来賓の方々に出席をいただきました。

式では、吉村知事の式辞に続き、高橋最上町長が「長年の懸案事項であった最上小国川流水型ダムの完成を迎えることができた。安全安心を提唱し、ダムツーリズム等の観光振興にも繋げてまいりたい」と挨拶を述べたあと、出席者による記念植樹やテープカットなどを行いました。



最上小国川は過去に幾度も洪水による被害が発生しており、特に上流に位置する最上町赤倉地区では、その度に浸水被害に見舞われたことから、地元では昭和62年から治水ダムの建設を要望してきました。これを受け、県では、平成3年度から予備調査を行い、流水型ダムの建設と河道改修を決定。平成24年度から流水型ダムの工事に着手し、昨年12月からの試験湛水を経て、今年3月にダム堤体工事が完成、4月24日から運用を開始しております。



流水型ダムは、通常は水を貯めずにダムのない河川と同じように水が流れるため、水質が変わらず、環境に与える影響は小さくなります。一方、洪水時には一時的にダムに水が貯められ、上流から流れてくる水よりもダム下流へ流れる水の量が少なくなるため、下流の洪水被害を防ぐことができます。国土交通省所管の流水型ダムは、全国5例目で東北では初となります。

今後も住民の皆さんの安全・安心の実現のため、治水対策に取り組んでまいります。



鮎釣りPRムービー配信開始！

本年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった「鮎釣り甲子園大会」の代わりとなる鮎釣りの振興策として、最上小国川で鮎の友釣りをする姿を撮影した動画を制作しました。

今夏は天候に恵まれず撮影の延期が重なったため、残念ながら当初予定していた高校生の生徒の出演は叶いませんでしたが、若者をキャストに8月27日に撮影を行いました。

初心者が、教わりながら釣りに挑戦する姿を収めておりますので、鮎釣りをやったことのない方にもぜひご覧いただき、これをきっかけにこれから鮎釣りを始めてみよう、将来鮎釣りをやってみよう、と思ってもらえたら幸いです。

動画は、10月23日より、YouTubeの「新庄・最上ジモト大学」チャンネルで配信しています。以下のURLやQRコードからアクセスいただき、ご視聴ください。

(フル) <https://www.youtube.com/watch?v=LCB88XTl8lk>

(ダイジェスト) <https://www.youtube.com/watch?v=TpB6nvU4a70>



フル



ダイジェスト



写真コンテスト 作品募集中！！

最上小国川清流未来振興機構では、最上小国川の大切さを再認識し、未来に伝える機運を醸成するため、最上小国川にまつわる写真コンテストを毎年開催しています。

最上小国川の魅力（最上小国川の風景、体験や思い出など）を撮影した写真を募集しますので、皆様からのたくさんのご応募をお待ちしております！

○テーマ：「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」

○募集期間：5月30日（土）～11月30日（月）

※入賞された方には、最上小国川流域の特産物等を贈呈します

第5回 最上小国川 写真コンテスト

募集「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」

テーマ 最上小国川の魅力（最上小国川の流域文化、伝統行事など）、風景、体験や思い出などを撮影した作品を募集します。

募集期間 令和2年5月30日（土）から11月30日（月）まで（当日消印有効）

主催：最上小国川清流未来振興機構

【お問い合わせ先】

最上小国川清流未来振興機構（山形県最上総合支庁総務企画部総務課連携支援室内）：0233-29-1240

※ 最上小国川清流未来振興機構のホームページでも、流域での地域づくり活動・観光情報などを掲載していますので、是非ご覧ください。

ホームページ

(<http://seiryu-mogamiogunigawa.jp/>)

